

くらしに役立つお金と生活の知恵を学ぶ

くらし塾 さんゆう塾

vol.36

2016春号

●巻頭インタビュー

『夢と信念』があれば心臓も再生できる

東京女子医科大学・先端生命医科学研究所教授 清水 達也

●連載エッセイ 経済学者がくらしをあばく
幸福

より良い暮らしと経済学

東京大学大学院経済学研究科教授 松島 斉

●そこが知りたい! くらしの金融知識

お得に便利に安全に

インターネットバンキング活用術

●特別企画 レポート

第12回金融教育に関する

小論文・実践報告コンクール表彰式



●巻頭インタビュー 2

●家計管理・生活設計のツボ 6

〈第8回〉 考えていますか?
定年退職後の暮らしとお金

●まんが わたしはダマサレナイ!! 8

悪質サイトの
ネットショッピング詐欺

●連載エッセイ 11

—経済学者がくらしをあばく—

〈第4回〉 幸福
より良い暮らしと経済学

●そこが知りたい! くらしの金融知識 14

お得に便利に安全に
インターネットバンキング活用術

●なるほど知るぼると 19

中学生・高校生を対象とする
作文・小論文コンクールの審査結果

●特別企画 20

第12回金融教育に関する
小論文・実践報告コンクール表彰式

●金融広報アドバイザーの誌上セミナー 26

知っておきたい「高額療養費」の
仕組みと医療費への備え

●金融・経済 おもしろ豆知識 28

〈第8回〉「彦一と殿さまのご褒美」

●おたよりコーナー 29

●都道府県金融広報委員会一覧 30

●まなびや訪問 31

鳥取県 米子市立和田小学校

『夢と信念』があれば
心臓も再生できる

巻頭
インタビュー

清水達也さん

東京女子医科大学・先端生命医科学研究所教授

今、世の中で脚光を浴びている「再生医療」。

そのなかでも、心不全の患者さんの

治療に向けて実用化が進んでいるのが、

東京女子医科大学・先端生命医科学研究所の

清水達也教授が開発した「心筋細胞シート」です。

近い将来、心臓の機能を代替する

組織をつくりたいと語る清水教授に、

再生医療の道に進んだきっかけや、

再生医療に賭ける想いをうかがいました。

研究が進む再生医療と細胞シート

京都大学の山中伸弥教授が2012年にiPS細胞の研究でノーベル賞を受賞したことをきっかけに、「再生医療」が大きな注目を浴びています。iPS細胞が医療の現場で患者さんの治療に役立つにはもう少し時間がかかりそうですが、iPS細胞以外にも私たち自身のからだの中にある細胞を使って、食道疾患や脊髄損傷などを治す再生医療の研究が進んでいることをご存知でしょうか。その一つに、「細胞シート」を使った心不全の治療があります。今年1月からは、太ももの筋肉の細胞からつくられた「心筋細胞シート」による治療が、初めて保険適用になりました。この心筋細胞シートを開発したのが、清水教授です。現在進んでいる再生医療とはどのようなもので、その主役の一つである細胞シートとは、何でしょう？

「トカゲは尻尾を切られてもしばらくすると元通りになりますね。私たち人間はトカゲのような再生能力こそ持っています。皮層がちよっと傷ついたくらいであれば、数日のうちに自然に治ります。これは皮膚にある幹細胞が表皮細胞など

を新しくつくり出してはおかげです。このよう

に私たちのからだには、自分自身を複製する能力

と同時にさまざまな細胞に分化する能力を持った

『体性幹細胞』があります。こうした体性幹細胞

やES細胞、iPS細胞などを使って、目的の細胞

や組織をつくり出し^{*}、傷ついたり失われた身体

の働きを補おうとするのが再生医療です」。

細胞を治療に使うとき、投与方法が問題になります。細胞が含まれた浮遊液を注射しても、治療が必要な場所に届く前にバラバラになってしまふと十分な治療効果が望めません。そこで考え出されたのが、「細胞シート」です。東京女子医科大学の岡野光夫教授が開発したもので、特殊な培養皿を使い、細胞同士が手をつないだままのシート状態で目的の部位に移植できるスグレもの。ちょうど筋肉痛のときに貼る湿布を、ものすごく薄くしたものを想像するといったか。

『心筋細胞シート』は、心臓の筋肉が薄く伸びて血液を送り出す力が弱くなった『拡張型心不全』の患者さんの心臓に貼る細胞シートで、大阪大学心臓血管外科の澤芳樹教授率いるグループと一緒に研究開発を進めてきました。太ももの筋肉の細胞（筋芽細胞）からつくった細胞シートを患者さんの心臓に貼ると、周囲の心筋細胞を元気にする『サイトカイン』という物質の効果で、血液を送り出す力が回復するのです。ただ、筋芽細胞は心筋細胞に変化しないので、さらに重症の患者さんを救うには、心筋細胞自体を再生する必要があります。そこで現在、iPS細胞から心筋細胞をつくり出し、患者さんに移植する研究が進んでいます。最先端の研究についてさりと話す清水教授ですが、先生が再生医療の世界に飛び込んだのは、

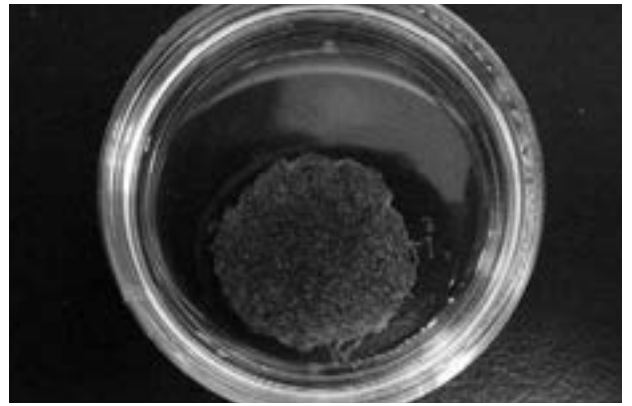
どのようなきっかけがあったのでしょうか。

循環器内科の臨床医としてスタート

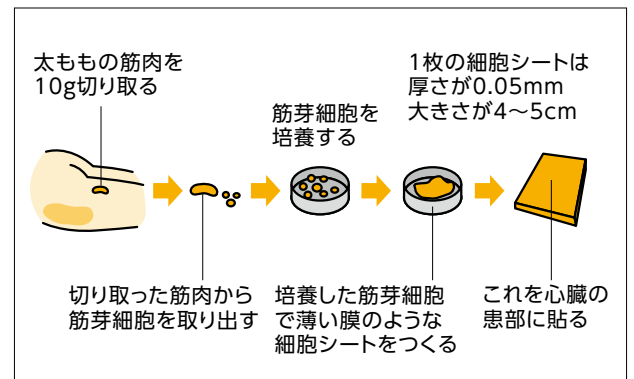
高校時代は宇宙飛行士を夢見ていたという清水教授ですが、最終的には父親が医者であったこともあり、医学部に進学します。大学6年生で専門分野を決定する際には、患者さんと接することに向いていると感じていたことと、何らかの特技を身につけたいという思いから、心筋梗塞の有効な治療手段として注目が高まっていた「カテーテル」を用いる循環器内科を選択。研修医時代には、救急で運ばれてきた患者さんに実際にカテーテル治療を施し、「人の命を救える」という手応えを感じたそうです。そして、いくつかの大学の関連病院に勤務するなかで「カテーテルのスペシャリストになろう」と考えるようになっていました。

^{*}体性幹細胞は、からだのさまざまな組織に存在し、種類に応じて特定の種類の細胞になる。例えば、造血幹細胞は、赤血球や白血球など約10種類の血液細胞になるが、神経細胞になることはできない。それに対して、受精卵からさまざまな細胞へと分化していくごく初期段階の胚からつくられるES細胞（胚性幹細胞）はどんな細胞になることもできる。しかし、生命の萌芽である胚を壊すという倫理的問題がある。成体の細胞に遺伝子を導入して人工的につくられるiPS細胞（人工多能性幹細胞）は、胎盤以外のどんな細胞にもなれるが、がん化の可能性など、実用化に向けていくつかの課題がある。

心筋細胞シート



ヒトの筋芽細胞から細胞シートをつくる



のか：と。それまでは決められた道をなんとなくまっすぐ歩いてきた人生でしたが、今こそ自分自身で決断しなければならぬ。そのとき宇宙飛行士の募集を見つけたのです。もともと憧れていた職業だし、実際に宇宙飛行士になった人の中には、古川聡さんという大学の身近な先輩もいるし、決して夢じゃない。もしかしたら運命かもしれないと、真剣に宇宙飛行士になることを考えました。実際に応募書類も取り寄せていたのです」。

31歳で初めて自分の将来に悩んだ末の転身

ところが、27歳のとき、大学院に戻って研究し、医学博士を取得するよう指導教授から勧められました。清水教授は、臨床に後ろ髪を引かれながらも、分子生物学の研究に携わるようになりま

す。そして、4年間の博士課程修了が近づいたころ、留学して大学院の専門分野を深めるか、外の病院で臨床をやるか、選択しなければならぬ時期が訪れました。

「ここで初めて自分の将来について悩みました。すでに臨床の現場から遠ざかり、カテーテルのプラ口になるという希望も中途半端な状態でした。では臨床医でなく研究者になるとして、留学後にポストがあるのか、本当に自分は研究を続けたい

歳と3歳の子どもを抱える家庭状況で、採用されれば家族と離れて米国で暮らさなければなりません。周囲にも反対されて結局断念。これをきっかけに、「自分は本当に何がしたいのか？」と必死の模索が始まります。

「そんなときに目にしたのが、文部省（当時）が再生医工学に大きな予算をつけるというニュースでした。岡野先生の『細胞シート工学』が取り上げられていて、『細胞シートを重ねて心臓をつくる』『血管もできる』と書いてあるのです。もともとモノづくりにも興味がありましたし、『これだ！』と早速、岡野先生にコンタクトを取りました」。

清水教授の熱い思いはすぐに伝わり、話はトン拍子に進んで、東京女子医大に移ることになります。1999年、31歳になっていました。前年の1998年にはヒトES細胞が誕生するなど、

まさに、再生医療が大きく進展しようとしていた時代でした。

拍動する心筋細胞シートをつくり出す

東京女子医大で清水教授が取り組んだのは、心筋細胞シートづくりでした。

「私が研究に参加したころは、細胞シートのコンセプトはできていたものの、まだ培養皿からなかなかキレイに細胞シートを剥がすことができない段階でした。心筋の培養にもまだ本格的には取り組んではいませんでした」。

ここで生きたのが、博士課程で身につけた、心筋細胞を元気な状態で培養する技術でした。

「産まれたばかりのラットの心筋の動きを、細胞内のカルシウム濃度で測る研究をしていたのです。心筋が動いた状態で測ることが大切なので、手早く進めなくてはなりません。こうした細胞を生きたまま培養するノウハウのおかげで、研究に取り組みはじめて数週間、心筋細胞シートをつくり、さらに何枚かを重ねることによって拍動する様子を確認することができました。シャーレの中でドキドキと動いている動画を岡野先生に見ていただくと、とても喜んでくださいました」。

「拍動する心筋細胞シート」は、その技術力の高さと利用可能性が大きな反響を呼びます。国の予算もつき、研究室も大きくなっていききました。

ただ学会で研究発表をしても、臨床医の反応は「絵に描いた餅だ」といったものだったそうです。そうしたなかで、一緒に研究をしたいと申し出があったのが、澤教授のチームでした。

「実際に胸をメスで開いて、心臓に細胞シート

を貼るのは澤先生のような心臓血管外科の臨床の人たちです。また動物実験室など、臨床応用のための設備も阪大は整っています。ぜひ一緒にやりましょうと共同研究を進めました。」

こうして2000年に共同研究がスタート、2007年には、実際の患者さんを対象にした臨床研究を行い、多くの患者さんで治療効果を確認。なかには人工心臓を装着していたのに、手術後に正常に近い状態まで回復し、人工心臓をはずすことができた患者さんもありました。2014年からは企業治験がスタートし、今年から保険治療が始まっています。

「現在、心筋細胞シートの薬価は1476万円ですが、近い将来、心筋細胞シートでの治療が一般的になり普及が進めば、さらに安くなるはず。」

モットーは、「夢と信念」

現在、清水教授がチャレンジをしているのが、心臓の代替になる組織を体外でつくり出すこと。現状の心筋細胞シートは、あくまで患者さんの心筋細胞を補助しているにすぎないため、さらに厚みをもたせた立体的な組織をつくり、重篤な患者さんを救おうというのです。すでに細胞シートを重ねて30層にし、血管も通った厚みのあるシートを開発しています。

「私がめざすのは臓器を『取り換える治療』です。心臓をそっくり取り換えるのはまだまだ先のことです。心臓の拍動する機能を代替する、生体による補助人工心臓のようなもの、心臓のパーツがターゲットです。円柱状の心筋組織にポンプ機能

を持たせたものや立体的な心筋組織をつくらうと考えています」と次の目標を掲げています。さらに「最終的なゴールは重篤な心疾患を持つ患者さんに、生命の光をもたらす『心臓をつくること』と語ります。

「現在実用化されている人工心臓はせいぜい10年ぐらいもつ程度で、心臓移植までのつなぎにかなりましな生体心臓移植は臓器提供者（ドナー）が少ないなど、一般的な治療法とはなりえていないのが実情です。iPS細胞から、心臓機能を代替できる心臓をつくり出すことができれば、多くの人を救えるはず。この『夢』は『信念』を持って取り組めばきっとかなうと信じています。だからこそ、この研究に、ともに夢を持ち続けてチャレンジしてくれる人を一人でも多く集めたいのです」。

問題はそこに投入できる予算の確保。10名の研究員が100名になれば、10倍のスピードで研究は進むのだそうです。とはいえ、研究者の大半が任期の短い「プロジェクト雇用」で、予算の増減によって研究室の定員が左右されるという問題があり、彼らを支える仕組みが大切だと指摘します。また予算にしても、国の研究費を増やすことは、これからの時代、なかなか困難です。「日本の科学技術が海外に負けないためには、最先端分野の研究に投資する民間企業の力と、個人からのドネーション（寄付）が集まる仕組みなどが重要になってくるでしょう」。

これまで再生医療に少くない予算が投下されていることを十分に踏まえ

たうえで、清水教授はこう言います。

再生医療分野のテクノロジは、ITのように日進月歩というわけにはいきません。安全性の確認ひとつとっても、十二分な検証が必要です。そのため、清水教授が今研究を進めている「心臓のパーツ」が患者さんを救うまでにはもう少し時間がかかるのも現実。時折届く、「再生医療で移植用の心臓をつくり出せる日はいつですか？」という患者さんの声には「10年後か、あるいは20年先かもしれません」と答えているそうです。ただ、多くの人が関心を向けることにより、同じ夢を持つ研究者が増え、研究費が増えれば、20年かかる研究が10年に短縮されることも夢ではありません。「日本の技術は今、世界を救えるポジションにあり、その可能性は十分に示されているのです」という清水教授の言葉を信じて、再生医療の未来を切り拓く若い研究者たち、夢を託す企業にも期待したいところです。



●清水達也（しみず・たつや）

1968年生まれ。1992年東京大学医学部医学科卒業後、循環器内科の医師として済生会中央病院、JR東京総合病院で勤務。その後、東京大学大学院で分子生物学研究に従事。1999年より東京女子医科大学先端生命医学研究所で心筋組織再生・構築の研究をスタート。2011年同大教授。2015年度 日本再生医療学会賞。

家計管理・生活設計のツボ

第8回

考えていますか？ 定年退職後の暮らしとお金

老後の生活について不安に思っているものの、今は会社を定年退職した後のことを考える余裕はないという50代の方も多いのではないのでしょうか。老後を安心して過ごすために、定年退職後の暮らしとお金について、「これだけは」というポイントをお伝えします。

ツボ1 いたずらに不安を抱くより、今からできる工夫を考える

ツボ2 退職金は“余裕資金”にはならないことを認識する

ツボ3 働き続けることで収入を増やそう

表1 老後の生活についての考え方 (%)

世帯主の年齢	それほど心配していない	心配である			無回答
		心配である	多少心配である	非常に心配である	
60歳未満	12.9	86.5	41.3	45.2	0.6

(出所) 金融広報中央委員会「家計の金融行動に関する世帯調査」(二人以上世帯調査) (2015年)

**定年退職の4、5年前には
考え始めよう**

金融広報中央委員会が2人以上の世帯を対象として2015年に行った世論調査によると、60歳未満の世帯のうち、老後の生活が「心配である」と答えた世帯は86.5%でした(表1)。その理由として最も多いのが、「年金や保険が十分でないから」、次いで「十分な金融資産がないから」となっています。これを見ると、「老後の生活における収支が赤字になるかも」とか、「老後に取り崩せる

十分な貯蓄を用意できないかも」という不安や焦りを感じている人が多いことが分かります。

ただ、こうした不安を抱えたまま何もせずに定年を迎えてしまうのは非常に残念です。定年退職後の人生設計を少しでも早く決めることができれば、時間を味方につけて老後の生活を豊かなものにするための工夫を行うことも可能です。

こうした工夫の効果を現実にするためにも、定年退職の4、5年前には老後についてしっかり考えてみる必要があります。

確かに、50歳代は何かと忙しく、腰を据えて今後の生活設計を考える余裕はなかなかありません。また、現実を知ってしまうことが怖いという気持ちもあるかもしれません。それでも、定年退職後20年以上にもおよぶ老後を豊かなものにするためには、早く現実に向き合い、将来の生活のイメージを固めることが大切です。

退職後の 収入を正確に確認しよう

退職後の生活をイメージするうえで、まず行ってもらいたいのが、現在勤めている会社を退職した後の収入を知ることです。「たぶんこ

のくらいではないか」という相場観はあるかもしれませんが、できるだけ正確に算出してみよう。

退職金や企業年金については、勤務先の担当部署に確認してみてください。公的年金については、50歳以上の人であれば、日本年金機構から毎年誕生月に送付される「ねんきん定期便」に受取見込額が記載されています。退職までにどのくらい貯金ができそうかについても予想してください。そのほか、満期を迎える生命保険などがあれば、契約している生命保険会社を受取額を確認してみましょう。

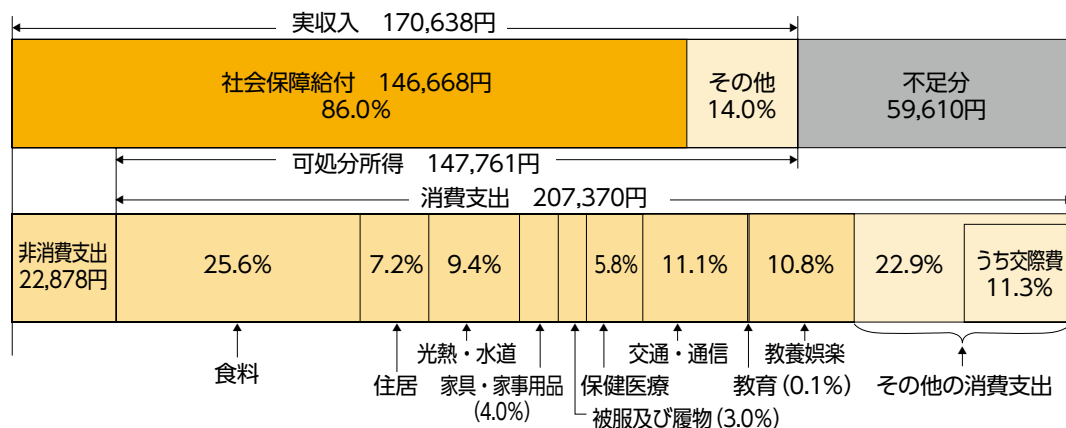
退職金で賄沢しても 大丈夫？支出を予測しよう

一つの会社に長く勤めているサラリーマンなら、1000万円を超える退職金を受け取る人も少なくありません。一生懸命勤め上げ、手にした退職金は、まさに頑張った自分へのご褒美。「少しぐらい大きな買い物や贅沢な旅行を楽しんでもいいじゃないか」…そんなふうに思ってしまうかもしれませんね。

けれど、生活に必要な費用(支出)を具体的に考えてみるとどうでしょうか。

総務省が行った調査によると、

表2 高齢無職世帯の家計収支（総世帯） 平成26年



(注) 1. 高齢無職世帯とは、世帯主が60歳以上の無職世帯
 2. 「社会保障給付」及び「その他」の割合 (%) は、実収入の内訳
 3. 「食料」から「その他の消費支出」の割合 (%) は、消費支出の内訳
 (出所) 総務省「家計調査報告」平成26年

平均的な高齢者世帯（世帯主が60歳以上の無職世帯）の収入と支出の内訳は表2のようになっていきます。約23万円の支出に対して年金などの収入だけでは6万円ほど足りず、その不足分は現役時代の貯

蓄や退職金を取り崩してまかなわなければなりません。日本人の平均寿命は男女ともに80歳を超えていますので、年金の受給資格が得られる65歳以降、仮に夫婦で20年生きるとすると、この不足分の合計は1500万円弱という計算になります。

もちろん、これは統計からみた平均的な姿。受け取る年金額は個人によって異なりますし、使うお金もどのようなライフスタイルをとるかによって異なります。ただ、年を重ねると、病気になったり介護が必要になったりする可能性も高くなります。親の介護に直面する人もいます。このようにみていくと、退職金を丸々「趣味や旅行に自由に使えるお金」と捉えてしまつては、退職後に安定した生活を送ることはなかなか難しいことが分かるでしょう。

焦りは禁物 「収入を増やす」「支出を減らす」「工夫を考える」

だからといって「定年退職後に必要なお金を稼がないといけない！」と焦って、ハイリスク・ハイリターン金融商品を退職金で購入するのは考えものです。また、こうした焦りが金融商品詐欺に

引っかかる要因にもなりかねません。ここは一度深呼吸をして冷静に考えてみましょう。

まず、老後の「収入を増やす」ことを考えましょう。「収入を増やす」方法として考えたいのは、「働き続ける」こと。かつて多くの方が、老後は60歳からと考えていましたが、最近では、70歳以上でも元気な人は大勢います。定年だから、年金がもらえるようになったからということ区切りを付けるのではなく、可能な限りの職業生活を継続することは、重要な選択肢です。また、退職金にはできるだけ手を付けず、貯金やリースの小さい金融商品で運用することも考えられます。金利や利回りは低くても、ある程度まとまった金額があれば、時間が味方をしてくれます。将来の収入を増やすための工夫です。

次に、「支出を減らす」ためにできる工夫はないでしょうか。もし、住宅ローンなどの返済が完了していない場合には、繰上げ返済をすることが有効な方法です。繰上げ返済した分、金利負担が軽減されるため、確実に総支出額を減らすことができます。ここには退職金の一部を充てることを考えてもよいでしょう。それから、身近

なことから節約も考えてみてください。今の生活のレベルを下げることは急には難しいかもしれませんが、現役のときから少しずつ始めていけば、定年退職を迎えるころには節約の効果は決して小さいものではないはずです。

ちなみに、高齢者世帯の支出で意外に高い割合を占めているのが、「孫費用」ともいわれています。お孫さんの笑顔を励みにすれば、少々節約も苦にならないのでは？このほか、趣味や地域の人たちとの交流など自分なりの楽しみを持つことで、ハリのある生活を送ることができます。長い目で生活設計を行い、楽しみのある老後の暮らしを今、しっかりと考えましょう。

■参考サイト

知るぽると：退職金と年金にかかる税金
<https://www.shiruporuto.jp/life/zeikin/syotoku/syotoku008.html>

知るぽると：高齢者世帯の収支
<https://www.shiruporuto.jp/finance/tokei/stat/stat008.html>

知るぽると：退職金を特定の金融商品に一度に投資するリスク
<https://www.shiruporuto.jp/finance/kinyu/hyakka/hk1108.html>

日本年金機構：年金Q&A
<http://www.nenkin.go.jp/faq/index.html>

総務省「家計調査報告」平成26年
<http://www.stat.go.jp/data/kakei/sokuhou/nen/>

わたしは ダマサレナイ!!

第32話

悪質サイトのネットショッピング詐欺

●監修

中谷 薫

(なかたに・かおる)

横浜市消費生活総合センター／
消費生活専門相談員

このコーナーで紹介するまんがは、実際に起きた事件をもとに、その「だましのシーン」を再現したものです。
なぜだまされてしまうのか？ ここで再現する巧みな策略に、その秘密が隠されています。
「私だけは大丈夫！」なんて甘く考えてはいませんか？ 実はそう考える人こそ被害に遭いやすいのです。



悪質通販サイトによる
ネットショッピングの詐欺被害が増大

スマートフォンなどの普及で、ネットショッピングは、若者から高齢者まで幅広い世代で利用者が増加しています。その一方で、最近は悪質な通販サイトの出現でトラブルも多発しています。

今回は最近の悪質通販サイトの被害事例を紹介しながら、悪質サイトの見分け方などネットショッピングを利用する際の注意点をお伝えします。

ポイント1

ネットショッピングに慣れている人も
詐欺被害者に

全国の消費生活センターには、ネットショッピングの経験者と思われる人たちがらも、「ブランド品を注文したが、発送の連絡がなく、突然海外から偽物が届いた」、「有名企業のオンラインサイトと思って注文したのに、色も形も違う商品が届いた。なりすましサイトだった」、「注文後の内容確認がないまま、注文になった。キャンセルメールを送ったが、まったく返信がない」、「注文確定のメールが不自然な日本語だったが、個人口座に代金を振り込んだ。商品が届かず、サイトが消えていた」など、さまざまな相談が寄せられています。

悪質通販サイトにはいくつかの特徴がありますので、ネットショッピングを利用する際は、事前にサイト内をチェックしておきましょう。

ポイント2

悪質サイト判別のチェックポイント！



- ①住所や電話番号の記載はあるか
悪質サイトの多くでは運営者について記載される情報がメールアドレスのみで、住所や電話番号が記載されていません。メールアドレスしか記載がないサイトには注意が必要です。住所の記載があっても、「実在しない」住所である場合もありますので、インターネットの地図サービスなどで確認しましょう。
- ②URLに不自然なところがないか
ブランドショップなど、正規のサイトのホームページを無断でコピーするなど、なりすましサイトの被害も発生しています。URLの文字列などに不自然なところがないかチェックしましょう。
- ③価格が極端に安くないか
悪質サイトは、極端に値引きした価格で消費者を誘い込みます。正規の販売価格より極端に安い場合は少し疑ってみましょう。
- ④商品説明などに不自然な日本語の表現はないか
悪質サイトの運営者が海外業者のことも多くあります。商品説明や注文確認メールなどに不自然な日本語の表現がある場合は、あやしむべきでしょう。
- ⑤振込先の口座が個人名義かどうか
支払方法が銀行振込の場合、振込先が法人名でなく、個人名義になっている場合は注意が必要です。
- ⑥注文内容を確認する画面があるか
ネットショッピングを行う場合には、消費者が注文前に注文内容を確認できることが必要です。事業者が、「申込みを行う前に注文内容を確認し訂正する機会」を設けていなければ、電子消費者契約法に従い、錯誤による契約の無効を主張できます。注



この物語はフィクションです

文内容を最終的に確認できる画面がない場合は、あやしいサイトです。

ポイント3

被害に遭ってからでは、解決が難しい

悪質サイトの被害に遭ったと気づいても、業者と連絡が取れない場合、支払ったお金を取り戻すことは困難です。しかし、事後にとれる対応がまったくないわけではありませんが、現実的な解決につながるとは限りませんが、銀行振込の場合は警察と銀行に被害を申し出て、振り込み詐欺救済法に基づく口座凍結を銀行に依頼しましょう。クレジットカード払いの場合は、クレジットカード会社に経緯を説明して、調査と請求保留を依頼しましょう。あやしいサイトに伝えてしまったカード番号は、被害拡大を防ぐために、すぐに変更しておくことも大切です。

ネットショッピングのトラブルを避けるには、事業者が信用できる相手かどうかを事前にチェックすることが重要ポイントです。少しでもあやしいサイトは利用しないようにしましょう。

困った場合は、最寄りの消費生活センターに相談しましょう。

「詳しい情報や相談」

●消費者庁

インターネット通販トラブル

http://www.caa.go.jp/adjustments/internet_trouble/internet.html

●国民生活センター 越境消費者センター (CJ)

悪質な通販サイトにご注意!

<https://ccj.kokusen.go.jp/counterfeit/>



幸福

より良い

暮らしと経済学

あなたにとって幸福とは何か。
また、幸福な国家とはどんな国だろうか。
すべての人びとの限らない欲求を
かなえ続けることではなさそうだ。
人は一人で生きていけない。
たえず価値観の違う誰かとの
関係性を保ちながら、
自分自身の立場を確たるものに…。
最終回は、経済学の視点から
幸福のあり方をあばいてみようと思う。

ベンサムのミイラ

ロンドン市内のUniversity College of London (UCL) という名門大学がある。学内のホールの通路には「ミイラ」が展示されている。哲人ジェレミー・ベンサム (1748-1832) の「自己標本 (オート・アイコン)」だ。ベンサムご本人の遺言にしたがって、ミイラは教授会にも出席されているとのこと。老害もここまでくればあっぱれ。次ページの写真は、私がベンサムに初めてお会いした際の記念すべき一枚。

松島 斉 (まつしま ひとし)

東京大学大学院経済学研究科教授
経済学者。専門はゲーム理論。1960年東京都生まれ。1983年東京大学経済学部卒。1988年東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。経済学博士。筑波大学社会工学系助教授、東京大学経済学部助教授などを経て、2002年より現職。アメリカ・エコノメトリック・ソサエティー・フェロー。日本経済学会学会誌 (Japanese Economic Review) 編集長。

ベンサムの頭部だけは蠟でできている。悪ガキ学生がベンサムの本物の骸骨でサッカーして損傷したから作り物に換えたなどと、どなたかにお聞きしたが、真偽は定かでない。まあ、もうどうでもいい。

こんなベンサムには有名なキャッチフレーズがある。それは「最大多数の最大幸福」だ。ひとりひとりが幸せになれば、それは社会の福祉向上にとって一番好ましいことだから、そうなるような行為や政策をしましょう。なんとも無邪気な倫理観を主張されたものだ。しかしベンサムは、この主張を大真面目に突き詰めていって、「パノプティコン」と呼ばれる刑務所の構想にいたった。

監視なき監視

人は自分の意思では必ずしも上手に幸福を実現できない、不器用な存在だ。子ども、病人、犯罪者にいたっては、とりわけそうに違いないのではないか。ならば、国家が個人に干渉してその暮らしぶりを正さないとけない。これを「パターナリズム (家長温情主義)」という。しかし、個別にいちいち干渉していたのではあまりにコストがかかる。

そこで、ベンサムは一望監視システム、つまり、「パノプティコン」という名の監獄を考案して、国家の意向に従順にふるまう個人を生産する仕組みを発明した。建物は円形で、大勢の囚人を収容できる。囚人には独房が用

意されている。独房は円形の壁にぐるりと配置されている。円の中央には監視部屋の塔が設置されている。独房のドアは、監視部屋に向かって開かれている。こうして、監視人が常に全員を監視できる態勢が整う。

ただし、ちょっとした光の入り方の工夫によって、囚人からは監視人が見えなくなっている。囚人は、姿の见えない監視人にいつも監視されている気分になる。だから、国家の意向に、いつでも従順でいいといけない。

そのうち意向に沿うことが習慣になる。さらには、習慣は社会規範、つまり倫理的に正しい、と考えるようになる。規範に背くと、国家のみならず、社会の構成員からも非難されると思うようになる。自分もまた、他人が規範に背けば咎めたくなる。こうして、囚人は更生され、晴れて娑婆に戻る。

パノプティコンでは、監視人一人で一度に大勢を更生できる。しかも監視人は、こっそり遊びに出かけても、囚人にはばれないのだからヘッチャラ。囚人に活動の自由を十分与えておいても問題なし。強制の弱い、「ソフトな」パターンリズムで十分効果ありなのだ。

パノプティコンが最良かどうかは別として、刑務所を、罰を与える場所としてだけでなく、囚人を社会復帰できるように更生する仕組みとするのには、賛成だ。実は、私の先祖にあたる明治の事業家、金原明善は、更生保護事業を日本で最初に始めたひとりだ。それまでは、刑期を終えても、厳しい「村八分」のために、犯罪を繰り返すしかなく、挙句は自殺してしまうこともあったそう。また、現在でも日本には更

生保護という考えがあまり根づいておらず、更生保護を担う事業所は不足していると聞く。残念な話だ。

高度福祉国家

パノプティコンは、国家が最小限の強制によって、国民を規律正しい行動に導くための装置だ。ならば、なにも刑務所に限ることはない。学校、病院、職場、あらゆる「公共の場」すべてに「パノプティコン・パラダイム」はあてはまる。

気づいてみれば、現代は、監視機能の付いた携帯通信の普及や、町中に監視カメラが設置されているなど、まるでパノプティコンのような「監視なき監視社会」だ。20世紀フランスの哲学者ミッシェル・フーコーによれば、パノプティコン・パラダイムとは、社会の隅々に張り巡らされる、社会の福祉水準全体を底上げさせることを目的とする「高度福祉国家」を実現させるための一大プログラム、なんだそうだ。

幸福を測る

では、国家の意向に沿う幸福の実現とは、どのようなものなのか。つまり、ベンサムという「幸福」とはいったい何なのか？ 残念ながら、その答えは、よく分からない、である。ベンサムは、みんなの幸福を比較したり足し合わせたることができるかと考えていたようだ。しかし、どこにそんな測定基準があるというのか。

20世紀終わりのころ、一部の脳科学者の間で、

脳活動を画像化するハイテク装置「fMRI」を使えば、幸福度の客観的基準がはずれは見つかるはずだと、大騒ぎしたことがあった。技術がいくら進歩したって、幸福の客観的基準など見つかるはずもなからうに。

奇妙な結果をもたらす心理実験を紹介しよう。幸福度の基準をなんとか説得的に決められたとしよう。この基準に照らして、もともと幸福度の低い人と高い人がいたとしよう。そして、前者は宝くじに当たったり、後者は大けがをした。ならば二人の間で、幸福度は、もちろん大逆転だ。しかし、しばらくすると、まだ傷も癒えないうちに、そして、宝くじの賞金もほとんど使ってないうちに、二人はもとの幸福度に戻ってしまった。これでは、けが人のほうが金持ちより幸福ということになり、どうも合点がいかなくなる。



筆者とベンサムのミイラ

幸福を測ることに意味がないわけではない。しかし、幸福を測ることは難しいし、そもそも幸福とは何かについて、われわれにはコンセンサスがない。しかも、幸福がかなり不適切に定義されている場合でも、みんなそれになかなか気づくこととはしない。

選択の科学

では、経済学は、幸福をどのようにとらえているのか。経済学は、別名「選択の科学」と呼ばれている。経済学は、人びとがより良い選択をするにはどうしたらいいかを分析する。より良い選択ができればより幸せになれると考えるのなら、経済学は幸福を追求する学問、といってよからう。

こんな経済学の重要な特徴は、あなたにとってより良い選択と、私にとってより良い選択とを比べて、どちらがより重要か、といった、個人間で比較したり、足したりするための特定の測定基準を、あらかじめ想定していない点にある。所得分配の公正さ、望ましい倫理のあり方などを考えていくと、いずれ個人間で比較することが必要になってくる。こんな場合に備えて、経済学は、どんな個人間の比較基準を想定しても、分け隔てなく分析することができるようにうまくしつらえられている学問なのだ。

しかし、実際に経済社会に生きる個人は、正しい選択をすっかり間違えたり、正しい選択ができない状況に追い込まれていたりする。よって、パノプティコンのような、ソフトなパターンリズムが、経済活動の随所で必要になる。

ナッジ

例えば、健康管理に気を付けなければならぬのに、高カロリーの惣菜と低カロリーの惣菜が売られていると、どうしても自分の好きな高カロリーのものを買ってしまいがちだ。こんなとき、低カロリーの惣菜を目のつきやすい棚においておけば、高カロリーの惣菜に気づきながらも、正しく低カロリーのものを購入するように、消費者を誘導できる。

このようなちょっとした工夫は、消費者の選択のメニューを限定したり、消費者を強制したりはしない。ちょっと肩を一押しされるだけで、消費者は、より良い選択へうまくコントロールされるのだ。このような工夫のことを、最近の経済学者は「ナッジ(nudge, 軽く肩をつくこと)」と呼んでいる。ナッジは、ベンサム流のソフトなパターンリズムと、実質的に同じことである。ベンサムのパノプティコンは、現代経済学にもしつかり息づいているのだ。

では、あなたは、こんなカロリー問題が、上述したようなナッジによって解決されることを、本当に望んでいるのか。本当は、この惣菜は高カロリーだという情報を教えてもらうだけで、あとは自分自身の力だけで解決したい、と思ってるんじゃないだろうか。

このような質問をすると、少なからざる人が、「ナッジを好まない」と答えるそうだ。どんなにソフトであっても、パターンリズムからできる限り逃れていたい。他人から干渉されず、自律的(自立的)でありたい。こんな風に願っているのだ。

自律的個人

パノプティコンの主である国家が意図する福祉理念は、自明なものでも、きちんと基礎づけられたものでもない。だから、国家は、過去の経験から科学者、専門家、有識者の意見にいたるまで、さまざまな媒体を利用することによって、脆弱な理念を裏書することに余念がない。こうして、パノプティコンは、国家の意向に即するも、根拠のあいまいな、社会規範を生成する装置と化す。

パノプティコンから逃れたい、自律的でありたいとする人は、社会規範に照らして、良くない行いだ、などと他者から非難され、押しつぶされそうになる。だから、高度福祉国家と自律的個人は、手を取り合うことなく、絶えず緊張関係に置かれる。

例えば、今年東大を卒業する「私」は、ITベンチャーに就職したい。しかし、家族は、とある大手企業に「普通に」就職しろ、と反対する。大手に普通に就職すれば、家族から称賛されることになる。結局、優秀な東大生である「私」は屈服し、就職初年度からコピー取りにいそむことになる。なんてむなし。



福祉は大いに結構。だけど、つまらない倫理感に押しつぶされるのは御免こうむりたい。だから、私は、一市民として、そして経済学者として、幸福の実現とは、自律的であり続けたいとするエンドレス・ファイト、と定義したいのだが、みなさんはいかが？

お得に便利に安全に インターネットバンキング活用術

日常生活の中にインターネットがますます普及してきています。インターネット上で銀行取引を行うインターネットバンキングについても活用法をぜひ知っておきたいもの。安全に、そして上手に使いこなせると、生活が便利でお得になります。

**日本ではサービス開始
から約20年**

日本で最初にインターネットバンキングのサービスを開始したのは大手都市銀行。1997年のことでした。3年後の2000年には日本初のインターネットバンキングを専業とする銀行も開業しています。サービス開始から約20年。今では地方銀行や信用金庫などにも広がり、預金を取り扱う金融機関の多くでインターネットバンキングが利用できます。インターネットバンキングの魅力は、なんといっても金融機関の窓口やATMに出向かなくても取引ができること。自宅のパソコンや、外出先からでもスマートフォンを使って取引

できます。また、営業時間を気にする必要ありません（取引によっては翌営業日の取り扱いになりますが、申し込みは可能）。さらに金利や手数料面でも金融機関窓口での取引に比べて魅力的となっています（図表1）。

一方、多くの金融機関がインターネットバンキングを取り扱う現在では、サービスの内容にも金融機関の間で違いがみられます。自分にあったサービスを提供するインターネットバンキングを見つけ、賢く安全に活用しましょう。

インターネットバンキング には3つのタイプ

インターネットバンキングのサービス提供の仕方には大きく

3つのタイプがあります。それぞれの特徴をご紹介します。

●都市銀行や地方銀行などが 提供する取引サービスとしての インターネットバンキング

都市銀行、地方銀行、信用金庫などでは、窓口やATMと並行してインターネットバンキングのサービスを提供しています。顧客は、自分の口座を使ったりいろいろな取引を窓口やATMで行ったり、インターネットバンキングで行ったり使い分けることができます（ただ、口座を持っていなくても、新たにインターネットバンキングを利用するには別途申し込みが必要です）。

坂本 綾子（さかもと あやこ）

CFP®/1級FP技能士。大学在学中より雑誌の編集に携わり、卒業後に取材記者として独立。1988年より女性誌、マネー誌などで金融に関する記事を執筆。家計管理、保険、資産運用に関する記事をはじめ、銀行の商品・サービスについても雑誌やWEB媒体で多数執筆。執筆に加え生活者対象のセミナー、家計相談も行っている。「お金の教科書」全7巻（小学校高学年から中学生向け金融・経済教育本）の著および監修。2012年より、市民団体「フオスター・フォーラム（良質な金融商品を育てる会）」にて、消費者教育を担当して活動中。

インターネットバンキングでの取引は人件費などが少なくてすむ分、同じ取引を行うのでも窓口やATMでの取引に比べて手数料が安いのが一般的です。すでに生活口座として使い慣れた口座がある人で、口座振替をよく行う人にはインターネットバンキングが向いているでしょう。

●インターネット支店での インターネットバンキング

都市銀行、地方銀行、信用金庫の一部では、このほかにもインターネットバンキング専用の口座を対象にしたサービ

図表1：インターネットバンキングと金融機関店舗などでの取引の比較

	インターネットバンキング	金融機関の店舗、ATM
利便性	自宅や外出先から取引を行える 取引時間を気にする必要がない（取引によっては、翌営業日の取り扱いとなるが、申し込みは可能）	店舗やATMに出向く必要がある 取引できる時間帯が決まっている
取引の種類	金融機関によって、取扱内容は異なる *残高照会、入出金明細の照会、振込、定期預金の作成と解約ができる点は共通	幅広い取引を取り扱う *左記のほか、各種ローンの契約、保険の購入など
金利など		
定期預金など	相対的に高い	相対的に低い
住宅ローンなど	相対的に低い	相対的に高い
各種手数料	相対的に低い	相対的に高い
現金の入出金	ATMにて行う *自行ATMを設置しないインターネット銀行の場合は、提携するATMで取り扱う	店舗の窓口またはATMにて行う

スを提供しています。インターネットバンキング専用の口座は、インターネット支店と呼ばれる、店舗や窓口を持たないインターネット上の支店に開設します（すでに同じ金融機関に一般の口座を持っている人も、この口座を作らないとこのサービスを利用できません）。対面での取引に比べて人件費などが低く抑えられるため、一般の口座と比べると預金金利が高めに設定されて

いるなどの特徴があります。

●インターネット銀行のインターネットバンキング
実在の店舗を持たない金融機関（インターネット銀行）によって提供されるインターネットバンキングです。インターネット銀行には、都市銀行を母体にしたものほか、異業種からの参入もあり、それぞれに特徴のあるサービスを競い合っています。

相対的に金利の高い定期預金のほか、インターネットで申し込みができて金利の低い住宅ローンが人気を集めるなど存在感を増しています。口座開設の申し込みはインターネットを介し、全国から行えます。

インターネットバンキングで行える取引を確認しよう

実際に、どのような取引をインターネットバンキングで行えるのかは、金融機関によって異なります。具体的には、振込、残高照会、入出金明細照会を行える点は共通ですが、定期預金の契約・解約、外貨預金の契約・解約、投資信託の購入・解約、住宅ローンの申し込みや繰上げ返済、税金などの各種電子納付などは、取り扱っている金融機関もあれば、取り扱いのない金融機関もあります。さらに、こうした取引だけでなく、住所変更などの届出をインターネットバンキングの画面から行える場合もあります。これから新たにインターネットバンキングを選ぶなら、各金融機

関において、自分のニーズにあったサービスが提供されているかどうかを確認しましょう。

手数料、預金金利、利用できるATMなどを事前に確認

先ほどご紹介したように、インターネットバンキングは、人件費や物件費が低く抑えられるため、窓口での対面やATMでの取引に比べると手数料や預金金利、借入金利が魅力的なものとなっています。自分のよく利用する取引を中心に、手数料や金利を比較して、経済的にも賢くインターネットバンキングを活用しましょう。例えば、ほかの口座への振込件数の多い人であれば、振込手数料の負担が小さいことを優先して選ぶとよいでしょう。また、預金で確実にお金を貯めたいのであれば、預金金利の高いインターネットバンキングを選ぶとよいでしょう。

ただ、現金の口座への出し入れはATMを介して行わなければならない点には留意が必要です。インターネット銀行は自行ATMを持たないので、コンビニATMなどの提携ATMを利用します。いずれのタイプのインターネットバンキングでも、一定

条件を満たせば提携ATMなどを手数料無料で入出金に利用できますが、その条件は金融機関によって異なります。インターネットバンキングの口座を使って「現金」の出し入れを頻繁に行うなら、使用できるATMの設置場所の多さ、手数料の安さという点に重きをおいて選択するとよいでしょう。

取引明細は自分が扱いやすい形で管理

ところで、インターネット支店、インターネット銀行のインターネットバンキングでは、原則として預金口座の通帳は発行されません。口座残高はインターネットバンキングの専用ページに入出金明細を表示して確認します。記録を残しておきたければ、入出金明細を印刷するか、入出金の記録データをダウンロードしておき、管理しやすい形で保存しておきましょう。多くの金融機関では、データをエクセルなどの表計算ソフトの形式にダウンロードできるようにしています。中には毎月末の残高や収支の推移をまとめて表示するなど家計簿的な機能を提供する金融機関もあります。こういった機

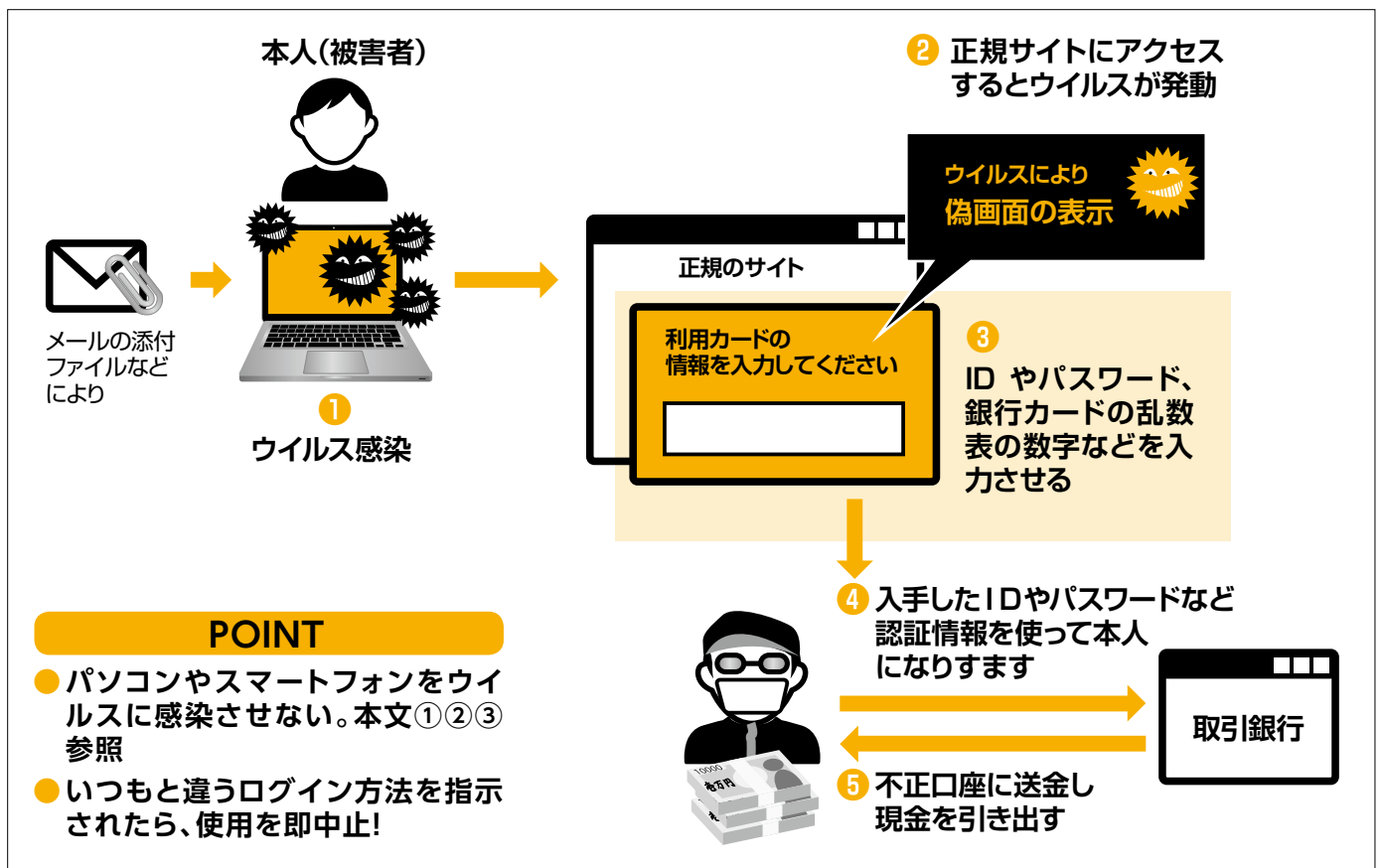
能も上手に利用すると家計管理が楽になるでしょう。

口座開設の方法も便利に

全国銀行協会が2012年に行ったアンケート調査（「よりよい銀行づくりのためのアンケート」）では、インターネットバンキングを利用していない人にその理由を聞いています。その結果、30%弱の人が「口座開設の申し込み手続きが煩雑そうで面倒だから」と回答しました。

たしかに、いずれの方式でも、利用するには本人確認書類を添えての申し込みが必要ですが、最近では便利な申込方法も登場しています。スマートフォンから申し込みをした金融機関の専用アプリをダウンロードしたうえで、運転免許証などの本人確認書類を撮影して送れば、わざわざコピーを用意したり、郵送することなく申し込みが完了するというもの。また本人限定受取郵便を利用することで本人確認を行う銀行もあります。郵送の手間が省けるうえ、申し込みから利用開始までの時間も短縮されます。利用してみたい金融機関の手続きを調べてみてはいかがでしょうか。

図表2：手口1



安全な取引のために
気をつけたいことは？

実は、先ほどのアンケート調査では、「インターネットで取引すること、セキュリティ面で不安を感じるから」という理由でインターネットバンキングを利用しない人が48%に上るという結果になっていました。「ある日、口座のお金が無くなってしまったらどうしよう」という漠然とした不安を持つ人が多いということでしょうか。警察庁の調査でも、インターネットバンキングにおける不正送金事犯が、2015年上半期に754件、15億4400万円に上ることが分かっています。また、被害の特徴として、信用金庫、信用組合にまで被害が拡大したこと、農業協同組合と労働金庫で被害が発生したことが指摘されています。

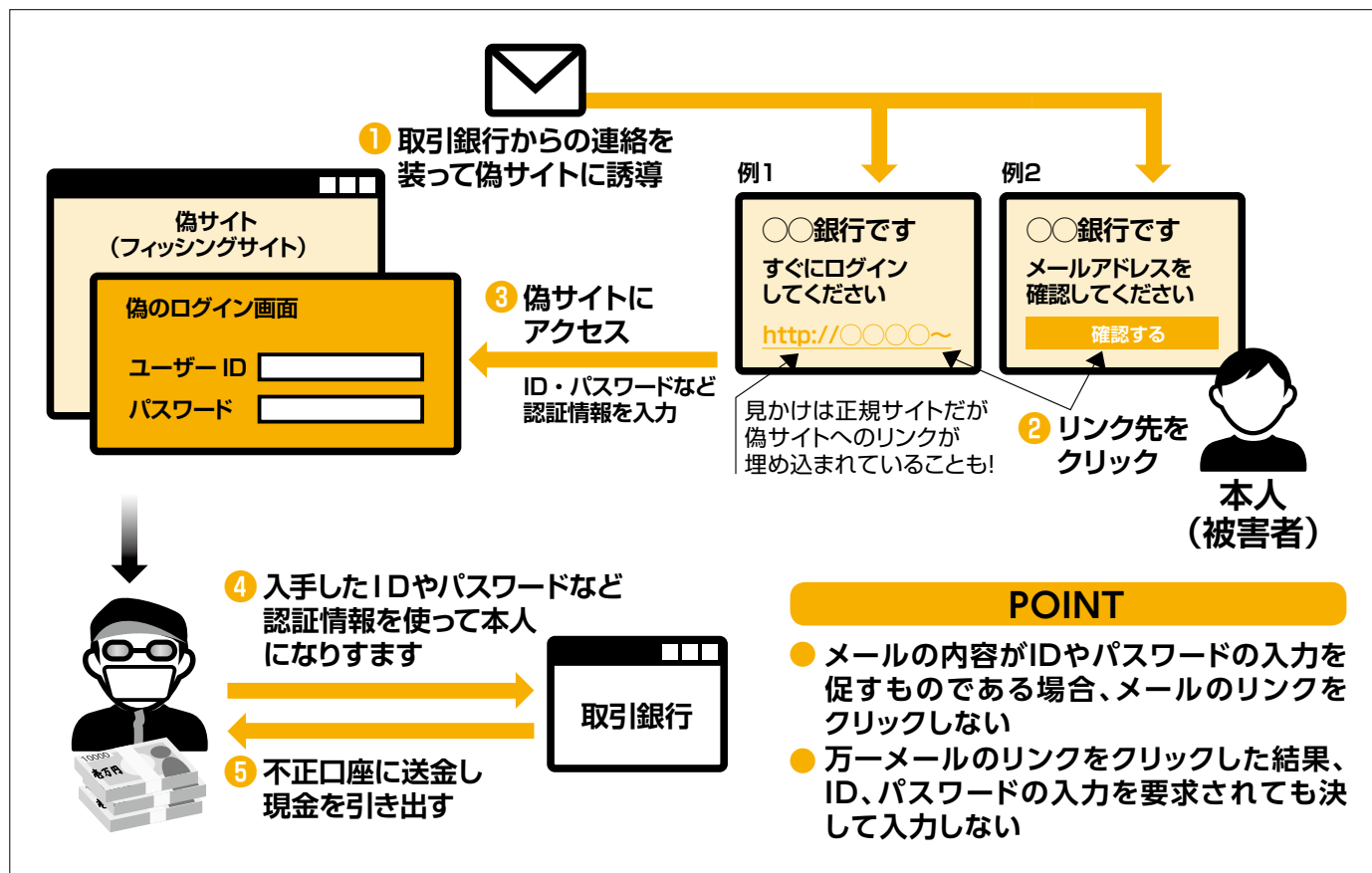
こうしてみると、「インターネットバンキングはやっぱり怖い」という印象を持たれるかもしれません、主な「手口」ははっきりしていますし、それへの対策もシステム面、運用面で進んできています。私たちも、「どこにリスクがあるのか」「何に注意すればいいのか」をしっかり勉強して、イ

ンターネットバンキングを上手に
使っていくという意識を持つこと
が大事です。
では、主な「手口」と対策につ
いて整理しましょう。

手口1 パソコンやスマート
フォンをウイルスに感染させて
パスワードなどを盗み取り、不
正な送金を行う（図表2）
手口2 銀行を装ったメールを
送るなどして偽のインターネッ
トバンキングのサイト（フィッ
シングサイト）に誘導し、入力
させたパスワードなどを使って、
不正な送金を行う（図表3）

① パソコンやスマートフォンに
はウイルス対策ソフトを導入し、
常に最新の状態に更新しておく
② パソコンのOSやwebブ
ラウザなどのソフトウェアを常
に最新の状態に更新しておく
③ 不審なサイトへのアクセスや
不審なメールの開封は行わない
④ インターネット上の各種
サービスにおいてパスワード
やIDを使い回さない
⑤ 不審な入力画面が表示され
たら、パスワードやIDを入力
せず金融機関などに連絡する

図表3：手口2



スマートフォンと連動 させるセキュリティ対策も

これらに加え、各金融機関が提供するセキュリティ対策も活用しましょう。

- 金融機関が配布するセキュリティソフトを導入する
- ワンタイムパスワード（一定時間おきにパスワードが変更され一度使うと無効になるもの）を利用する
- 取引を携帯電話やスマートフォンにメールで通知するサービスを申し込む

取引後すぐにスマートフォンにメールで通知が入れば、身に覚えのない送金に早く気づくことができます。

取引内容をスマートフォンにメールで通知するのみならず、指定されたスマートフォンで許可しない限り取引が実行されない仕組みのスマートフォンアプリを配布する金融機関もあります。

取引を始める前に、金融機関のセキュリティ対策についても確認しておきましょう。

図表4: インターネットバンキングでの不正な払戻しに関する補償基準

補償対象	個人のお客さま
補償要件	金融機関への速やかな通知 金融機関への十分な説明 捜査当局への被害事実等の事情説明（真摯な協力）
補償基準	預金者無過失 ⇒ 全額補償
	預金者過失あり・重過失 ⇒ 個別対応 インターネットの技術やその世界における犯罪手口は日々高度化しており、そうした中で、各行が提供するサービスは、そのセキュリティ対策を含め一様ではないことから、重過失・過失の類型や、それに応じた補償割合を定型的に策定することは困難である。したがって、補償を行う際には、被害に遭ったお客様の態様やその状況等を加味して判断する
その他	金融機関への通知が被害発生日の30日後まで行われなかった場合、親族等による払戻の場合、虚偽の説明を行った場合、戦争・暴動等の社会秩序の混乱に乗じてなされた場合は補償を行わない

「インターネット・バンキングに係る補償の対象・要件・基準等について」（全国銀行協会ホームページ）より抜粋

万一、被害に遭った場合も 無過失なら全額補償

対策をとっていたのに、不正送金の被害に遭ってしまったらどうなるのでしょうか？

全国銀行協会では、インターネットバンキングの被害の補償について取り決めを行いました。これによると預金者（個人）に過失がなければ、銀行に過失がなくとも銀行が全額

を補償することとしています。速やかな通知、捜査当局への協力などをその条件としています。また預金者に過失があった場合にどこまで補償するかは個別対応となっています（図表4）。同協会による会員銀行へのアンケート結果によれば、2008年度以降の補償率は90%以上です。

なんだかあやしいと思ったら、取引金融機関に相談、被害に遭ったら、取引金融機関と警察に直ち

に連絡を取りましょう。

金融機関店舗やATMに行かず取引ができるインターネットバンキングは、子育て中の主婦、多忙な会社社員、病氣・けがなどで外出が難しい人、自宅で過ごす時間が長い人、高齢者、銀行店舗やATMまで遠い人など、さまざまな立場、状況の人が利用できる便利な取引手段です。しかも、振込手数料が安い、定期預金の金利が高いなどのメリットもあります。しかし、インターネットバンキングを使うには、セキュリティ対策をしっかり行っただけで、上手に、かつ安全に活用することをおすすめします。

犯罪に遭った場合などの連絡先

■あやしいと思ったら相談

- ・取引金融機関
- ・全国銀行協会相談室
<http://www.zenginkyo.or.jp/adr/about/>
- ・銀行とりひき相談所
<http://www.zenginkyo.or.jp/abstract/clinic/>
- ・最寄りの警察、消費生活相談窓口

■被害に遭ったら直ちに連絡

- ・取引金融機関と警察

中学生・高校生を対象とする 作文・小論文コンクールの審査結果

金融広報中央委員会では、中学生や高校生に金融・経済への関心を高めていただくことを目的として、毎年、作文・小論文コンクールを実施しています。

厳正な審査の結果、今年度は以下の方々が上位に入選されました。全入賞者の氏名等および上位入賞作品は、知るぽるとホームページ(<http://www.shiruporuto.jp/>)をご覧ください。

■ 第48回「おかねの作文」コンクール(中学生) (2015年) 特選

主催：金融広報中央委員会

後援：金融庁、文部科学省、日本銀行、
公益社団法人日本PTA全国協議会、
日本私立中学高等学校連合会

金融広報中央委員会会長賞受賞の
神奈川県 三浦市立初声中学校 加藤梨理さん
(左は金融広報中央委員会 吉國会長)



応募総数 3,203 編

金融担当大臣賞	「お金の使い方」を考える 早田 弥生さん (東京都 筑波大学附属中学校 3年)
文部科学大臣賞	最後の一万円 土屋 駿さん (東京都 暁星中学校 2年)
日本銀行総裁賞	「活きたお金の使い方」とは 山縣 香納絵さん (岡山県 倉敷市立多津美中学校 3年)
日本 PTA 全国協議会 会長賞	曾祖母からの三千元 程能 楓さん (兵庫県 神戸市立有野北中学校 2年)
金融広報中央委員会 会長賞	塵も積もれば 加藤 梨理さん (神奈川県 三浦市立初声中学校 1年)

■ 第13回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール(2015年) 特選

主催：金融広報中央委員会

後援：金融庁、文部科学省、日本銀行、
全国公民科・社会科教育研究会、
公益財団法人全国商業高等学校協会、
全国家庭科教育協会、
日本私立中学高等学校連合会

金融広報中央委員会会長賞受賞の
岡山県立岡山大安寺中等教育学校
吉元えりかさん



応募総数 2,640 編

金融担当大臣賞	地域活性化と経済 富吉 悠輔さん (愛媛県 愛媛県立松山西中等教育学校 4年)
文部科学大臣賞	直売所と地域経済の発展 徳丸 実玖さん (大分県 大分東明高等学校 2年)
日本銀行総裁賞	さとうきびで結び島の産業と未来 大久 勝利さん (沖縄県 沖縄県立八重山高等学校 2年)
全国公民科・社会科教育研究会 会長賞	道路と経済の関係について 木村 誠太郎さん (岡山県 岡山県立岡山大安寺中等教育学校 5年)
金融広報中央委員会 会長賞	女性の労働環境から考える日本経済 吉元 えりかさん (岡山県 岡山県立岡山大安寺中等教育学校 5年)

■これらのコンクールは、2016年度も実施（6月頃募集開始）予定です。多数のご応募をお待ちしております。

レポート

第12回金融教育に関する 小論文・実践報告コンクール表彰式

昨年12月25日、第12回金融教育に関する小論文・実践報告コンクール（主催：金融広報中央委員会、後援：金融庁、文部科学省、日本銀行）の表彰式が金融広報中央委員会の事務局がある日本銀行本店で開催されました。表彰式の模様をレポートするとともに受賞作品の概要をご紹介します。



コンクールの概要

募集部門	小論文部門、実践報告部門、研究校部門（今回新設）
応募資格	幼稚園教諭、小学校・中学校・高等学校・高等専門学校・高等専修学校教員、教職課程在籍または教職を目指す大学生、大学院生、大学教員等研究者
賞	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文部門・実践報告部門 特賞 …… 1編（賞状・賞金 30 万円）、優秀賞 …… 各部門2編（賞状・賞金 10 万円）、奨励賞 …… 各部門3編※（賞状・賞金 3 万円） ・研究校部門 推奨実践事例賞 …… 1～2編※（賞状・賞金 5 万円）

※第12回では奨励賞に各部門2編を、推奨実践事例賞に3編を選定



講評を行う
東京大学大学院
松島 斉教授

「金融教育に関する小論文・実践報告コンクール」は、金融教育の必要性を広く世の中に認識していただくこと、さらに優秀な入賞作品を紹介することにより、金融教育に携わる方の今後の参考としていただくことを目的としています。

表彰式では金融広報中央委員会の吉國真一会長から特賞、優秀賞、推奨実践事例賞を受賞された皆さんに賞状と賞金が授与されました。続いて審査員を代表して松島斉東京大学大学院教授から、「今回も多様な問題意識にもとづく多くの作品が寄せられました。全体としては、今までみられなかった分野、とくに工夫を凝らした教育実践が顕著にみられました。非常に興味深くかつ示唆に富んだ内容が多く、審査はとても充実したものでした。今後、受賞作品が広く取り上げられ、金融教育の機運がよりいっそう高まることを願っています」と講評をいただきました（各受賞作品への講評は次頁以降に紹介しています）。

◎受賞名
特賞

◎作品タイトル

高齢者への金融教育講座における留意点
―講座の実践をおして―

◎受賞者

鹿児島大学教育学部4年 中野直実氏
鹿児島大学准教授 田村愛架氏



写真左：鹿児島大学教育学部4年 中野 直実 氏
写真右：鹿児島大学准教授 田村 愛架 氏

この論文のポイント

・高齢者のための金融教育講座を考案すること、その講座の実践をおして、受講対象者としての高齢者への理解を深めるとともに高齢者への金融教育講座を行う際の留意点を提示する。

・具体的には、「還付金詐欺」を題材として、「詐欺に遭ったときの対処法を身につける」、「詐欺に遭わないための知識を身につける」、「学んだことを家族や友人に伝える」ことを目標とした講座を考案。

・さらに、この講座の実践をおして、高齢者向けの講座では「替え歌」が有用であること、「悪いのはだました人であること」を明確に伝えること、「高齢者は講座の内容を家族や友人に伝える意欲が高いこと」といった高齢者像と高齢者向けの金融教育講座を行う際の留意点を提示する。

受賞者の声

振り込め詐欺などの消費者トラブルで最も被害が多い高

齢者を対象とすることで、社会に役立つ論文に取り組みました。

単に話を受け身で聞くだけの講座ではなく、考え、話し合う時間を持てる参加型で身につく講座をめざしました。

卒業後は小学校教諭になるため、小学校でも金融教育に取り組んでいきたいと思っています（中野氏）。

私たちの取り組みは公民館で行われる「高齢者サロン」に出向く出前講座で、金融教育であると同時に学生と高齢者の世代間交流という側面もあり、非常に喜ばれています。今回の受賞により、こうした私たちの実践が世に広がってほしいと思っています（田村氏）。

審査員の講評

本小論文は、高齢者の金融リテラシー向上という、わが国の重要な課題に真摯に取り組み、実践による検証を経て有益な提案を多数行っている点が高く評価されました。

◎受賞名
小論文部門・優秀賞

◎作品タイトル

データ分析(回帰分析)を用いた経済・金融教育

◎受賞者

東京都立拝島高等学校教諭
竹達 健頭氏

この論文のポイント

・データ分析(回帰分析)という統計的な手法を用いて経済・金融教育を行うことの有用性を提言する。
・経済教育において重要な意味を持つデータ解析について、株価や為替レート・国債等のさまざまな経済的なパラメータの間の相関関係を、パソコンの表計算ソフトを使った回帰分析という形で高校生に分かりやすく教える実践方法を紹介する。

受賞者の声

卒業生から「先生、確定拠出年金って何？」と問われ、生徒たちが社会に出る前に経済や金融の知識を実感できる授業にしたいと考えました。
例えば円安やODAが実際の経済にどんな影響を与えているかを知るために、実際のデータ



を使って回帰分析を実施。一次データを探して入力するところから始めました。一次関数を使うため、数字や数学が苦手な生徒には厳しい面もありましたが、「円安で企業の株価が上がリ、金融緩和策に効果があった」、「ODAはベトナムの経済成長に寄与している」ということが実際に分析結果から読み取れ、「なるほど」と理解できたのは、とても重要な体験です。
今後、年金など将来に関わることも自分で検証できる授業を手がけたいですね。

審査員の講評

高校生が生データのベースを使い、自分で判断して見ているという、とても重要な教育プログラムの実践です。現代社会や経済問題についての理解を深めるうえで、きわめて有意義であると評価されました。

◎受賞名
小論文部門・優秀賞

◎作品タイトル

これからの時代に求められる金融教育

「起業による『金融教育プログラム』学校における金融教育の年齢層別目標」(年齢層別の金融教育内容)改訂版」の実践的活用」

◎受賞者

徳島県阿南市立山口小学校教頭 島村 孝氏

この論文のポイント

・筆者が過去13年にわたって取り組んだ金融教育を総括した論文。

・小学校における金銭・金融教育では、社会に出ても通用する金銭感覚を身につけることが大切である。

・そのためには、疑似体験や教科ごとの分散的な金銭教育ではなく、「起業活動」を伴う授業を必修とし、子どもたちの記憶と記録に残る起業による会社経営を母体とした系統的な授業展開の必要性を説く。

受賞者の声

次期学習指導要領では、社会に開かれた教育課程やアクティブラーニングが重視されています。それを最も効率的に実践するには、子ども自身が実際にものに触れ、ものを扱っている人



から影響を受け、社会という風に当たり、学びとったものを地域や社会に還元することが必要です。そして、それを最後までやり遂げる活動が一番身につくことを、私は何度も経験してきました。

小論文では、私自身の経験を踏まえた大きなフレームを示しました。そこにそれぞれの地域性や子どもたちの個性、先生方の得意分野を反映させ、それぞれの教育現場で起業の取り組みが広がっていけば、何よりもうれしいですね。

審査員の講評

小学校における社会とのつながりの中でのバラエティに富んだ体験的な学習が、試行錯誤の過程や児童の成長という大きな成果とともに紹介されています。次期学習指導要領の改訂に向けても時宜を得た作品であると評価されました。

◎受賞名
実践報告部門・優秀賞

◎作品タイトル

税の使い方から考えるわたしたちの
暮らしと未来のまちづくり

◎受賞者

北陸先端科学技術大学院大学助教
小林 重人氏



この論文のポイント

- ・中学生を対象に行った租税教育の実践報告。
- ・生徒が税と暮らしの関わりをより具体的に理解できるように、地元自治体の歳入・歳出を取り扱って授業を展開した。
- ・普段馴染みのない歳出にかかる用語については、筆者が開発したカードゲームによって確認させたうえで、生徒には一次資料である予算書をグループで紐解きつつ、課題に取り組ませた。

受賞者の声

税金は私たちの日々の暮らしに直結しており、社会に出る前の早い段階で税金の使われ方を知ることが大切です。そこで、これまで成人を対象に実施した「税金はどこへいった？」税金の行き先がわかるウェブサイトをみんなで作ろう」という

ワークショップを、中学生用にアレンジしました。

実際に納税額を計算した生徒たちは「税金は高い」と感じたようです。また歳出面の分析を行ったところ、公債費に注目するグループが多く、借金はのちの自分たちが返さなければならぬことを実感していたことが印象的でした。

自分の住むまちについて一層理解を深め、税金の使い方は自分たちで決めることができること、また主体的に地域づくりについて考える機会になればと考えています。

審査員の講評

税と暮らしは直結しているため、中学生のように早い段階で税の使い方について考える機会を設けることを提唱し、分かりやすい教材を使い中学生の主体的な学びを引き出している点が評価されました。

◎受賞名
実践報告部門・優秀賞

◎作品タイトル

大学における金融リテラシー教育
アクティブラーニングと学習ポートフォリオ

◎受賞者

金沢大学専任講師
松浦 義昭氏



この論文のポイント

- ・「金融リテラシー・マップ」を活用して行われた大学における金融リテラシー教育の実践報告。
- ・全16回の授業は金融広報アドバイザーと大学教員が分担し、アクティブラーニングを取り入れる形で授業方法の統一を図った。具体的には、授業前半では、金融リテラシー・マップの内容を踏まえた解説を行い、後半では実際の生活場面を想定したケース教材を用いてグループ討議や発表を行った。
- ・また、金融リテラシー・マップに対応した予習復習用のワークブック等の教材も開発。

受賞者の声

大学に入学すると、生活費を自分で管理するなどお金とかわる機会が増えてきます。また、大学生は社会人としての自立し

た人生プランを描いて準備する時期でもあります。そこで、実際に生きていくうえで役に立つ人生とお金に関する知恵が身につく授業にしたいと考えました。

毎週、授業後半に金融リテラシーを活用する場面を想定したグループ討議を行っています。が、「金利の差はわずかでも、長期では返済額が大きく変わることが確かめられた」、「自分が理解できる金融商品しか購入しない」、「リスクとリターンの関係が実感できた」といった感想が寄せられています。

今後も金融広報アドバイザーと連携した授業を展開し、確かな金融リテラシーを身につけた学生を育てていこうと考えています。

審査員の講評

金融教育の趣旨や内容を十分に理解し、体系的な教育内容とワークシートを含めた具体的な指導方法を提示している点で、有益な実践報告と評価されました。

◎受賞名
研究校部門・推奨実践事例賞

◎作品タイトル
地域を通じた体験的な学びから、社会的自立を目指した金融教育の実践（定時制高校から見えたこと）

◎受賞者

岡山県倉敷市立精思高等学校・金融教育委員会
同校教諭
小津野純・安藤裕子・田辺大蔵・芦田亮介・矢吹志郎氏

【この論文のポイント】

・定時制高校における社会貢献活動やフィールドワークを通じ、生徒の金融・経済の知識やスキル、コミュニケーション力の向上という成果を上げた金融教育の実践報告。

・2013年度から2カ年間、研究校として委嘱を受けたことをきっかけに、「地域を巻きこみ、生徒と社会が関わっていける金融教育」をテーマに実践。文化祭における「お金」をテーマにした作品展示、チャリティバザー、公開授業・講演会をはじめ、各学年で体験型授業にも取り組んだ。

【受賞者の声】

私どもの高校は全校生徒約100名。小さいながらも動きやすいのが利点です。

チャリティバザーを「持続型社会形成をめざす社会貢献」と



小津野 純氏

位置づけ、地元企業、東京の企業約200社に協力を仰ぎ、約3000点・22万円の売上を達成しました。

さまざまな実践を通じて生徒のモチベーションが高まり、14年度と連続して「エコノミクス甲子園」岡山大会で優勝できたほか、地域ボランティアへの参加や、社会のため友達のために貢献しようという生徒が増えたことを実感しています。

今後も継続して確かな金融知識を持った生徒を育てていこうと考えています。

【審査員の講評】

社会人としての人格の成長を重視し、生徒たちがコミュニケーション力を高めるとともに、近視眼的な生活スタイルを見直して貯蓄し、将来のライフスタイルをデザインして生活するように金融教育を実践しているとして評価されました。

◎受賞名
研究校部門・推奨実践事例賞

◎作品タイトル
商業教育の視点に立った金融教育の取組
A・L型授業の実践
（奨学金の返還と滞納の問題を考える）

◎受賞者

愛媛県立大洲高等学校教諭
仙波鉄也氏

【この論文のポイント】

・奨学金の返還と滞納問題を考えるアクティブラーニング型の授業の実践報告。

生徒には、奨学金の完済までに10年以上要することを学んだうえで、自身のライフイベント、キャッシュフロー表を作成させた。そのうえで、長期間にわたる奨学金の返還がライフプランに与える影響を、生徒自身が認識し、自立した消費者としての理解を深める内容とした。

【受賞者の声】

生徒から「奨学金は借金なのか？」と質問されたことをきっかけに、奨学金を教材とした金融教育が有効だと考えました。その際に、企業の立場から金融教育を考える場面を設定することに心掛けました。

最初は収入と支出の金銭感覚



も十分ではなく、ライフプランの作成には苦労しました。ただ、グループワークで意見を出し合うと、計画を立てて借りる、使途を考えて支出する、必要以上は借りないなど、お金に対する意識が高まっていきました。

生徒たちからは、給与天引きなどで必要な貯蓄分を先に別口座に移しておく「先取り貯蓄」の知識は役に立つといった感想が多く寄せられ、手応えを感じました。今後は商業科だけでなくほかの教科や学年団とも連携し、より深みと奥行きのある授業を展開したいと考えています。

【審査員の講評】

奨学金の返済は、現在、学生が社会に入る入口で最初に出会う切実な問題となっており、これを含めてライフプランニングを考えさせるという実践に真真正面から取り組んでいることに大きな意味合いがあるとの評価を得ました。

◎受賞名
研究校部門・推奨実践事例賞

◎作品タイトル

小学校における職業体験学習の実効性を探る
「私たちのハローワーク『働くこと』の価値」を見
つけよう！」の実践を通して

◎受賞者

福岡県八女市立矢部小学校教諭
廣田 知良氏



この論文のポイント

・小学校6年生の総合的な学習の時間の中で、地元の複数の事業所の協力を得て行った職場体験学習の実践報告。

・職業体験は、2回に分けて行う計画で、事業所には一人一人の「勤務評価」の作成を依頼した。子どもたちは、1回目の職業体験後に行った自己評価と事業所から受け取った勤務評価を踏まえて、2回目の職業体験に臨んだ。

受賞者の声

事業所の方には、小学生でも「交流」ではなく「職業体験」という趣旨でお願いしました。手やからだを動かす物理的な作業

審査員の講評

が多かったものの、子どもたちは大人と同じ仕事を体験できた。勤務評価では理由も明確に書いていただいたため、子どもたちは自己評価とのギャップにショックを受けつつも、良かった点、良くなかった点をきちんと理解できたようでした。指摘された課題を解決しようとする前向きな姿勢、もつと世の中を知りたいという意欲など、目に見えて大きな成長を感じました。仕事は簡単ではないこと、夢をかなえるには努力が必要なこと、実践を通じて考え、掘り込んだ実践だったと思います。

中学校では全国で広く行われている職場体験ですが、小学校での実践は珍しく、先生方の苦労が忍ばれるとともに、綿密な指導により成果を上げていることが伝わってくるとして高く評価されました。

ここで紹介した上位入賞作品の全文は、「知るぽるとホームページ」<http://www.shiruporuto.jp/teach/school/kyoin2015/> でご覧いただけます

年々レベルアップする提言・報告に期待を寄せて

金融広報中央委員会会長 吉國 眞一



金融教育は子どもたちをはじめとする人々の生きる力、すなわち、自ら学び、考え、主体的に判断、行動し、より良く問題を解決する力を養ううえで、大きな役割を果たしています。今回の第12回コンクールの全作品を拝見し、丁寧な実践を通じて考察されたもの、新たな視点による意欲的な実践など、金融教育が質・量の両面で着実に発展していること

が確認でき大変うれしく思っています。

さらに来年も教育関係者の皆さまから、さまざまな視点での提言やご意見、金融教育の実践に関するご報告をお寄せいただき、この表彰を通じて、その成果が多くの方々の間で共有されることを願ってやみません。皆さまからの積極的なご応募をお待ち申し上げます。

第12回 最終審査員

- 大杉昭英 国立教育政策研究所初等中等教育研究部長
- 神山久美 山梨大学大学院准教授
- 河野公子 聖徳大学大学院講師
- 松島 斉 東京大学大学院教授
- 向山行雄 帝京大学大学院教授
- 井上勝弘 NHK制作局第1制作センター経済・社会情報番組部長
- 高橋経一 日本銀行情報サービス局長
- 吉國眞一 金融広報中央委員会会長



表彰式の様子

※次回、第13回「金融教育に関する小論文・実践報告コンクール」は、2016年6月ごろ募集開始予定です。

知っておきたい「高額療養費」の仕組みと医療費への備え

— 第8回 — 講師：中島典子 東京都金融広報アドバイザー

このコーナーでは、全国で活躍している金融広報アドバイザーによる誌上公開セミナーを行います。第8回の講師は東京都金融広報委員会で活躍の中島典子さんです。今回は、万が一に備えて知っておきたい「高額療養費制度」の概要と医療費への備え方についてレクチャーいただきました。



「医療費」の備えを考えるにあたって

「医療費」は自分や家族の大切な健康を支えるために必要な支出です。しかも、病気やけがによっては医療費の負担が家計に大きな影響を及ぼしかねません。一方、わが国では、医療費に関して公的な保障制度がかなりの程度整っています。このため、大きな考え方としては、まず公的な医療保障制度を上手に利用し、不足する部分を私的な保障で備えるということになります。そこで、まず現行の公的な保障の仕組みを理解し、そのうえでそれぞれの家族構成や経済状況などに合った民間の医療保険への加入のしかたを考えてみましょう。

「高額療養費制度」を知っておこう

日本では「国民皆保険制度」のもと、すべての国民が国民健康保険や健康保険（協会けんぽ）、共済組合、後期高齢者医療制度など、いずれかの公的な医療保険に加入しており、保険診療の場合、患者である私たちが病院や薬局の窓口で支払う医療費の自己負担額は、医療費総額の1～3割で、残りは

これらの医療保険によって支払われます。

【図表】高額療養費制度の所得区分と自己負担限度額

70歳未満の場合

所得区分	ひと月あたりの自己負担限度額（円）
年収約1,160万円～ 健保：標準報酬月額83万円以上 国保：年間所得901万円超	252,600 + (医療費 - 842,000) × 1% <多数回該当：140,100>
年収約770～約1,160万円 健保：標準報酬月額53万～79万円 国保：年間所得600万～901万円	167,400 + (医療費 - 558,000) × 1% <多数回該当：93,000>
年収約370～約770万円 健保：標準報酬月額28万～50万円 国保：年間所得210万～600万円	80,100 + (医療費 - 267,000) × 1% <多数回該当：44,400>
～年収約370万円 健保：標準報酬月額26万円以下 国保：年間所得210万円以下	57,600 <多数回該当：44,400>
住民税非課税者	35,400 <多数回該当：24,600>

70歳以上の場合

所得区分	1カ月の負担の上限額	
	外来（個人ごと）	
現役並み所得者 (月収28万円以上などの窓口負担3割の方)	44,400円	80,100円 + (総医療費 - 267,000円) × 1%
一般	12,000円	44,400円
低所得者 (住民税非課税の方)	Ⅱ（Ⅰ以外の方）	24,600円
	Ⅰ（年金収入のみの方の場合、年金受給額80万円以下など、総所得金額がゼロの方）	8,000円 15,000円

(出所) 厚生労働省保険局

これらの医療費が高額になった場合、一定の金額（自己負担限度額）を超えた分について、医療保険からあとで払い戻される「高額療養費制度」というものがあります。この制度は、自己負担額が1～3割に抑えられていても、治療法によっては医療費が高額となる可能性があるため、こうしたときの家計負担が過重なものとならないよう設けられた制度です。例えば、1カ月間にかかった医療費の総額が100万円だった場合、自己負担率が3割なら、病院や薬局の窓口で支払う医療費は30万円ですが、このうち、自己負担限度額を超えた金額の払い戻し

を受けることができます。

ここでいう自己負担限度額は、年齢（70歳以上か未満か）と所得に応じて決まります【図表】。70歳未満で年収約370～770万円の人であれば、自己負担限度額は「8万1000円」+「医療費のうち26万7000円を超えた分の1%」と定められています。※したがって、この例では、「8万1000円 + (100万円 - 26万7000円)

中島 典子

(なかしま のりこ)

税理士・社会保険労務士・CFP®。大手外資系会計事務所のTAX(税務部門)を経て独立。オーナー経営者や起業家のトータルサポート業務、FP関連書等の執筆、個別相談、講座講師など多方面で活躍。東京都金融広報アドバイザーとして、子どもからシニアまでの幅広い金融経済教育活動に取り組んでいる。

※ 70歳以上（低所得者区分以外）は自動的に自己負担上限額となります。

円)×0.01」＝8万7430円が自己負担限度額となります。自己負担割合が3割だと、自己負担額30万円のうち、8万7430円を超える分の21万2570円について払い戻しを受けることができます。対象となるのは、診療・治療・薬代等の1カ月にかかった医療費で、入院時の食事代・差額ベッド代は含みません。

この「高額療養費制度」には、さらに負担を軽減する仕組みとして、「多数回該当」と「世帯合算」があります。「多数回該当」は、同一世帯で直近12カ月間に、高額療養費の払い戻しを3回受けている場合に、4回目以降の自己負担額がさらに軽減されるものです。また、「世帯合算」は、一人の1回の窓口での支払額では、高額療養費の払い戻し対象とならない場合でも、同月内に同じ世帯のほかの家族（ただし、同じ医療保険に加入している人に限ります）のために医療機関にかかった費用や、一人で複数の医療機関にかかった費用を月単位で合算し、その合計額が一定額を超えた場合には、超えた分の払い戻しを受けることができます。ただし、70歳未満が合算できるのは、一つの医療機関（医科・

歯科および入院・外来は別計算）で「一人で1カ月2万1000円以上の自己負担」のみです。

さて、実際に高額療養費制度を利用するには、2通りの方法があります。一つは、病院や薬局の窓口でいったん自己負担額を全額支払い、後に加入する公的医療保険から払い戻しを受ける方法です。この場合、病院を受診した月から払い戻しを受けるまでは、3カ月以上かかるのが一般的であり、この間、立て替え払いの負担が生じます。もう一つの方法は、あらかじめ加入する医療保険に「限度額適用認定証」を発行してもらい、これを病院や薬局の窓口で提示することにより、窓口での支払額を自己負担上限額にとどめる方法です。この場合、自分で用意する費用が少なくてすむほか、事後に加入する医療保険に対して高額療養費の申請をする必要もありません。このため、手術や入院の予定があるなど、医療費が高額になることが事前に分かっている場合には、「限度額適用認定証」の発行を受けるとういでしょう。

このほか、「高額医療・高額介護合算療養費制度」で毎年8月から1年間の自己負担額が軽減される制度もあります。

自分と家族の健康リスクを知り、適度に備える

次に、起こりうる健康上のリスクに対して、公的な保障で不足していると思われる部分をどう補うべきかを考えます。高額療養費では差額ベッド代などはまかなえませんから、仮に差額ベッドの日額が1万円だとしたら10日間入院するとして10万円。こういった費用について、貯蓄で備えるか民間の医療保険に加入するかという選択になります。いずれで備えるにしても、大病にかかったときにどのような医療を受けたか、家族からどのようなサポートを受けられるのかについて考えておく必要があります。

そのうえで、民間の医療保険に入る場合は、保険の給付内容を検討し、無駄な保険には入らないようにすることが大事です。そのためには、保障に関する内容を十分チェックすることが大切です。ただ、約款を読んで正確に理解・評価することは容易ではありません。一つの方法は、異なる会社の類似商品を比較し、ニーズに合うものを探してみることです。もし決めきれないときは、専門家に相談するのがよいでしょう。

一方、民間の医療保険に加入しないなら、将来の医療費を見込んで、まずは世帯当たり100万円～200万円の貯金を別に用意しておくとういでしょう。

病気を持つと、民間の医療保険の加入は難しくなります。また働けなくなると収入が途絶えてしまうというリスクもあるため、健康が維持できているうちに備えておくことが大切です。

公的医療保険が整備されている日本では、いたずらに医療費に不安を覚える必要はありません。しかし、抱えるリスクは個々の事情により異なります。自分の家庭の状況を常に把握し、医療リスクへの適切な対応を心がけていきましょう。

今回のまとめ

- ★知っておきたい、公的な社会保障「高額療養費」
- ★健康に関する「リスクと備え」を考えよう
- ★公的保障を補う自分での備えは、納得できる内容で

古今東西、昔から伝えられているおとぎ話から現代の映画やマンガまで、お金や経済にまつわる物語は数え切れないほどたくさんあります。今回は「休さんや吉四六さん」とも有名な彦一のとんち話から、算術を使ったお話をご紹介します。

第8回

複利に強くなろう

「彦一と殿さまのぐい褒美」

彦一とんち話より

「彦一とんち話」は、肥後の国熊本藩八代地方の民話です。主人公の彦一は、八代城下の長屋に住む妻子ある働き盛りの善人として描かれることが多いですが、実在の人物かどうかははっきりしていません。しかし、この彦一、無学ながらも知恵や才覚を武器に、狐と化け比べをしたり、天狗さまと知恵比べをしたり。あるときは殿さまをとんちでやりこめ、自らの窮地もとんちで切り抜ける…など、多くの愉快なお話が残っています。

ある日のことです。お城に勤めに出た彦一の働きぶりに殿さまが「ほうびを取らせるから欲しいものを言ってみよ」と声をかけると、彦一は「殿さまは将棋がお好きなので、将棋盤のマスに今日は米1粒、明日は倍の2粒、明後日はまた倍の4粒…というふうに倍々の

お米をください」と頼みます。殿さまは、「そんな小さな望みでいいのか」と彦一の願いをかなえようとします。

しかし改めて計算してみると…将棋盤は9×9の81マス。10日目の将棋盤の目には512粒、20日目には52万4288粒、30日目には5億3687万0912粒…と米粒の数がどんどん膨れ上がり、81日目にはなんと、およそ1兆粒の1兆倍という天文学的な数字となってしまう。ささやかな褒美とたかをくくっていた殿さまは、実は途方もない米を褒美とする約束をしてしまっていたのです。

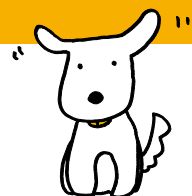
この「明日は今日の倍…」という約束をお金の貸借になぞらえてみると、1円を「日利100%の複利」で借りて返済することと同じです。複利とは、「利子にもまた利子がつく」こと

です。金利が高いほど、また期間が長いほど、借金は急激に増えていきます。「日利100%」は闇金融の代名詞である「トイチ（10日で1割）」を上回るまったくの暴利ですが、仮に「年利15%」で100万円を借りた場合でも、途中での一部返済がなければ、5年程度で返済額は2倍の200万円になってしまいます。

この話は、最初は小さくとも、今日増えた分も含めて明日倍になるという格好で膨らんでいく米の量のすさまじさに肝をつぶした殿さまが彦一に詫言、あらためて彦一の知恵に感心することになります。

もちろん、これは殿さまだから許されること。お金を借りる場合には、「金利の怖さ」を十分に理解して、きちんと返済できるかを考えることが重要です。





読者のみなさまの声を紹介します。
ありがとうございます。

● はじめて手にとった冊子です。お金にはあまり関心がなかった方で家計はすべて夫がやっています。でも娘が4月から家を離れ大学へ行くのでその仕送や授業料等々で今、頭をかかえています。

(富山県・能沢一代さん)

● 「家計夢ノート」を実際に使ってみたいと思います。出納帳では不十分なので、使いこなしていきたいです。

(北海道・Kビーンさん)

● お金に関して全く無知な夫と私…。今、小2・年長・2才児の3人の子供が居ます。この子達が高校、その上の学校へ行きたいと言ったとき、はたしてお金があるだろうか…。上手に資金を作って運用できるだろうか…。と今から不安です。もっとお金の事を勉強したいです。本誌をよみ「せねば!!」と思いました。

(京都府・シバイちゃんさん)

● 「プリペイドカードについて考えよう」は社会科の教職を学んでいる大学生の娘にもぜひ読ませたく、保存しようと思います。よい教材になると思います。

(青森県・ミニさん)

● 岡崎さんの、「ママは必要なものしか買いません」に、我が家を重ね思わず、苦笑い。それにしても女性には強いですね。間違いました。母になったら、強くなるんですね。

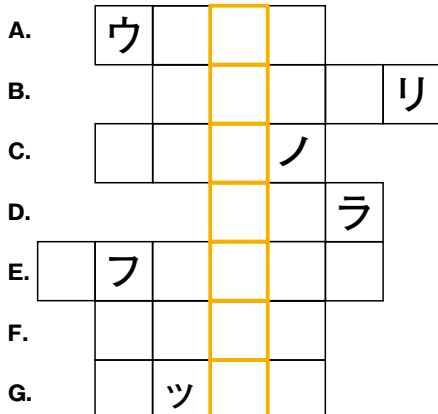
(香川県・中山喜博さん)

● 今回の冬号で特に興味を覚えたのが、家計夢ノートでした。家計の練習帳とはグッドな内容とネーミングです。ライフデザイン…参考にしていこうと思います。これを機会に夫婦の会話が弾む!? 効果もありそうですね。頑張ります。

(北海道・さつけんちゃんさん)

知るぽるとクイズ

以下のヒントをもとにヨコに言葉を入れていくと、タテの太枠にキーワードが完成します。本誌に登場した印象的な言葉ですが、さて何でしょうか？



ヒント

- A. 「五月蠅い」ってなんと読む？
B. 端午の節句といえば
C. 春は〇〇〇〇 やうやう白くなりゆく…
D. 明るく穏やかな春〇〇〇かな一日
E. 目がかゆく、くしゃみが止まらない…
F. この紙を取っておくと家計簿をつけるのに役立ちます
G. 好き嫌いがはっきり分かれる発酵食品 ※答えは次号掲載

●前号の答え

フリコメサギ

今年1月に警察庁が発表した資料によれば、振り込め詐欺を含む特殊詐欺の被害は、昨年、地方都市で増加したそうです。「自分はだまされるはずがない」という先入観を捨てて、家族で協力して被害を防ぎましょう。

おたより募集中

「くらし塾 きんゆう塾」では、皆さまからのおたよりを募集します。クイズにお答えいただいた上で、下記宛先までお送りください。2016年5月31日までにご意見をくださった方の中から、抽選*で10名の方に、「日めくりカレンダー」をプレゼントいたします。さらに、おたよりを本誌に掲載させていただいた方には、「知るぽると特製ボールペン***&メモ帳」もプレゼントいたします。

※当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。
※※使い終わった紙幣の裁断片が入っています。

●記入していただきたいこと

- ①本号で面白かった記事
- ②本号で「もう工夫ほしい」と思った記事
- ③今後、取り上げてほしいと思うテーマ
- ④一言ご感想
- ⑤この広報誌を知ったきっかけまたは場所
- ⑥知るぽるとクイズの答(左記参照)
- ⑦ご住所・お名前・年代・電話番号
- ⑧「読者のおたよりコーナー」への掲載希望の有無/掲載するに当たり、本名ではなくペンネームをご希望の場合はペンネーム

※いただいた個人情報は、プレゼントの発送、誌面への掲載に関してのご連絡についてのみ、使用させていただきます。

●宛先

郵送 : 〒103-8660 東京都中央区日本橋本石町2-1-1
日本銀行情報サービス局内
金融広報中央委員会「くらし塾 きんゆう塾」担当宛
メール : info@saveinfo.or.jp
FAX : 03-3510-1373
金融広報中央委員会「くらし塾 きんゆう塾」担当宛

都道府県金融広報委員会一覧

委員会名	郵便番号	住所	電話番号
北海道金融広報委員会	〒060-0001	札幌市中央区北1条西6-1-1	011 (241) 5314
青森県金融広報委員会	〒030-8570	青森市長島1-1-1	017 (734) 9209
岩手県金融広報委員会	〒020-0021	盛岡市中央通1-2-3	019 (624) 3622
宮城県金融広報委員会	〒980-8570	仙台市青葉区本町3-8-1	022 (211) 2523
秋田県金融広報委員会	〒010-0921	秋田市大町2-3-35	018 (824) 7814
山形県金融広報委員会	〒990-8570	山形市松波2-8-1	023 (630) 3237
福島県金融広報委員会	〒960-8614	福島市本町6-24	024 (521) 6355
茨城県金融広報委員会	〒310-8639	水戸市南町2-5-5	029 (224) 2734
栃木県金融広報委員会	〒320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028 (623) 2151
群馬県金融広報委員会	〒371-8570	前橋市大手町1-1-1	027 (226) 2273
埼玉県金融広報委員会	〒333-0844	川口市上青木3-12-18 SKIPシティ A1 街区2F	048 (261) 0995
千葉県金融広報委員会	〒260-8667	千葉市中央区市場町1-1	043 (225) 7141
東京都金融広報委員会	〒103-8660	中央区日本橋本石町2-1-1	03 (3277) 3788
神奈川県金融広報委員会	〒221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2	050 (7506) 1128
山梨県金融広報委員会	〒400-0032	甲府市中央1-11-31	055 (227) 2419
長野県金融広報委員会	〒380-0936	長野市岡田178-8	026 (227) 1296
新潟県金融広報委員会	〒951-8622	新潟市中央区寄居町344	025 (223) 8414
富山県金融広報委員会	〒930-0046	富山市堤町通り1-2-26	076 (424) 4471
石川県金融広報委員会	〒920-8678	金沢市香林坊2-3-28	076 (223) 9519
福井県金融広報委員会	〒910-8532	福井市順化1-1-1	0776 (22) 4495
岐阜県金融広報委員会	〒500-8384	岐阜市藪田南5-14-53 ふれあい福寿会館1棟5階	058 (213) 9257
静岡県金融広報委員会	〒420-8720	静岡市葵区金座町26-1	054 (273) 4112
愛知県金融広報委員会	〒460-8501	名古屋市中区三の丸3-1-2	052 (954) 6603
三重県金融広報委員会	〒514-0004	津市栄町1-954 三重県栄町庁舎3階	059 (246) 9002
滋賀県金融広報委員会	〒520-8577	大津市京町4-1-1	077 (528) 3411
京都府金融広報委員会	〒604-0924	京都市中京区河原町通二条下ル 一之船入町535	075 (212) 5193
大阪府金融広報委員会	〒530-8660	大阪市北区中之島2-1-45	06 (6206) 7748
兵庫県金融広報委員会	〒650-0034	神戸市中央区京町81	078 (334) 1129
奈良県金融広報委員会	〒630-8213	奈良市登大路町10-1	0742 (27) 5454
和歌山県金融広報委員会	〒640-8319	和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛8階	073 (426) 0298
鳥取県金融広報委員会	〒680-8570	鳥取市東町1-220	0857 (26) 7160
島根県金融広報委員会	〒690-8553	松江市母衣町55-3	0852 (32) 1509
岡山県金融広報委員会	〒700-8707	岡山市北区丸の内1-6-1	086 (227) 5128
広島県金融広報委員会	〒730-0011	広島市中区基町8-17	082 (227) 4268
山口県金融広報委員会	〒753-8501	山口市滝町1-1	083 (933) 2608
徳島県金融広報委員会	〒770-8570	徳島市万代町1-1	088 (621) 2258
香川県金融広報委員会	〒760-0023	高松市寿町2-1-6	087 (825) 1104
愛媛県金融広報委員会	〒790-0003	松山市三番町4-10-2	089 (933) 6308
高知県金融広報委員会	〒780-0870	高知市本町3-3-43	088 (822) 0114
福岡県金融広報委員会	〒810-0001	福岡市中央区天神4-2-1	092 (725) 5518
佐賀県金融広報委員会	〒840-0815	佐賀市天神三丁目2-11 アバンセ3階	0952 (25) 7059
長崎県金融広報委員会	〒850-8645	長崎市炉粕町32	095 (820) 6112
熊本県金融広報委員会	〒862-8570	熊本市中央区水前寺6-18-1	096 (383) 2323
大分県金融広報委員会	〒870-0023	大分市長浜町2-13-20	097 (533) 9116
宮崎県金融広報委員会	〒880-0805	宮崎市橘通東4-3-5	0985 (23) 6241
鹿児島県金融広報委員会	〒890-8577	鹿児島市鴨池新町10-1	099 (286) 2544
沖縄県金融広報委員会	〒900-8570	那覇市泉崎1-2-2	098 (866) 2187

くらし塾 vol.36
さんゆう塾

平成28年4月発行

●編集・発行
金融広報中央委員会
●編集協力
廣告社株式会社

©金融広報中央委員会 禁無断転載

編集 後記

今号は、一部のコーナーをお休みし、昨年12月に行われた「金融教育に関する小論文・実践報告コンクール」の表彰式の模様をレポートしました。受賞作品はどれも、学校で金融教育を受けた覚えのない私には、(昔に戻れるなら) こんな授業を受けてみたいと思う内容です。受賞作品の全文は「知るぽると」ホームページに掲載しています。ご一読ください。

* 本誌は全国の金融広報委員会等でお配りしています。個人の方の定期購読はお取り扱いしておりませんのでご了承ください。

* なお、既刊号全号をPDFファイル形式で「知るぽると」ホームページ上に掲載していますのでご利用ください。

<http://www.shiruporuto.jp/about/kurashijuku/>



鳥取県 米子市立和田小学校

米子市立和田小学校は、鳥取県西部の米子市北西部に位置する明治6年創立の歴史ある学校です。周辺には「日本の白砂青松100選」に選ばれた弓ヶ浜や米子鬼太郎空港があり、全校児童約100人が学年の枠を超え、触れ合いながら学んでいます。

当校は、2014年度に鳥取県金融広報委員会から金銭教育研究校の委嘱を受け、この2年間、実践授業を行ってきました。

例えば、5年生の家庭科では、「じょうずに使おう物やお金」をテーマに、ノートやハムといった具体的な品物を買う場面を想定した「買い物シミュレーション」を行い、買い物をする際に必要な視点や上手な買い物の仕方について考えて意見を出し合いました。また、6年生の社会科では「数年後の自分」をテーマに、将来一人暮らしをする場合に必要になるお金（家賃や食費等）について考える「一人暮らしシミュレーション」を通して、使えるお金には限りがあること、生活をするうえでは工夫を凝らしてやり繰りすることが大切であることを学びました。

児童の中には、普段の生活において、実際に自分の財布からお金を出して買い物をする経験を持

たない子どもが多くいます。一方、インターネットを利用した小売サービスの普及など、子どもを取り巻く環境も大きく変化しています。児童には、この2年間の金銭教育を通じて考えた「物やお金を大切にし、消費生活を行ううえで自ら判断し選択することの意味」について理解を深め、さらに賢いお金の使い方を身につけることにより、将来の豊かな暮らしを切り拓いてほしいと願っています。



米子市立和田小学校

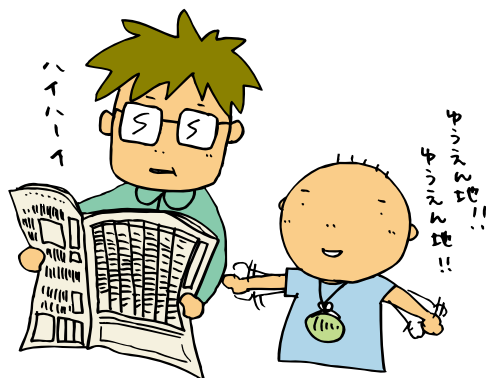


弓ヶ浜の海岸を歩く「全校すなはま遠足」



でかいことやろう集会

口約束も、 立派な約束。



知るぽると 金融広報中央委員会 (事務局：日本銀行情報サービス局内)

金融広報中央委員会って？

おかねについての情報を、もっとくらしに役立ててほしい。

そのために必要な情報をわかりやすく届けたい。

そんな思いで活動しているのが、「知るぽると」の金融広報中央委員会。

日本銀行の中に事務局のある、中立・公正な団体です。

「知るぽると」は金融広報中央委員会の愛称です。

くらしに役立つ身近な知恵・知識の「港：Porto」「入り口」です。

知るぽると ホームページ

<http://www.shiruporuto.jp/>

